

日本図書館研究会研究大会グループ研究発表

論題:

「電子化の浸透下，図書館サービス・
ポリシーを再確認する」

杉山誠司（日本福祉大学），
家禰淳一（堺市立西図書館）



忘れてはいけないポリシー

すべての人に、望みの資料
を提供する





忘れてはいけないポリシー

インターネット情報資源・
電子書籍の提供

軽視も忌避も禁物である





インターネット資料提供の特徴

- ・「もの」あるいは「場」を中心とした
図書館サービス
- ・インターネットを「場」とした
図書館サービス





電子化された情報資源（電子書籍） の提供の特徴

- ・図書館サービスに「ある種」の変更を要する





電子書籍に係わる諸々の図書館業務

1) 選択、収集・保管(手続き・契約)関連事項

2) 目録: 電子化情報資源組織化による新たな課題

① 図書館資料の情報資源組織化面で、館が保管しアクセスできる情報資源の組織化

② 現在の目録情報に留まらない粒度の高い書誌情報の提供の研究

③ 検索・閲覧(機器)レファレンス(継続対応如何)





電子書籍に係わる諸々の図書館業務

3) 電子書籍の提供サービス:貸出

- ①貸出を実行するか(デジジョン・メイキングなど)
- ②貸出方法、技術的制御
- ③著作権処理

4) 図書館サービスの場の拡大に伴う管理運営の変化と拡大:管理 — ポリシー、研修





電子書籍に係わる諸々の図書館業務

3) 電子書籍の提供サービス:貸出

- ①貸出を実行するか(デジジョン・メイキングなど)
- ②貸出方法、技術的制御
- ③著作権処理

4) 図書館サービスの場の拡大に伴う管理運営の変化と拡大:管理 — ポリシー、研修



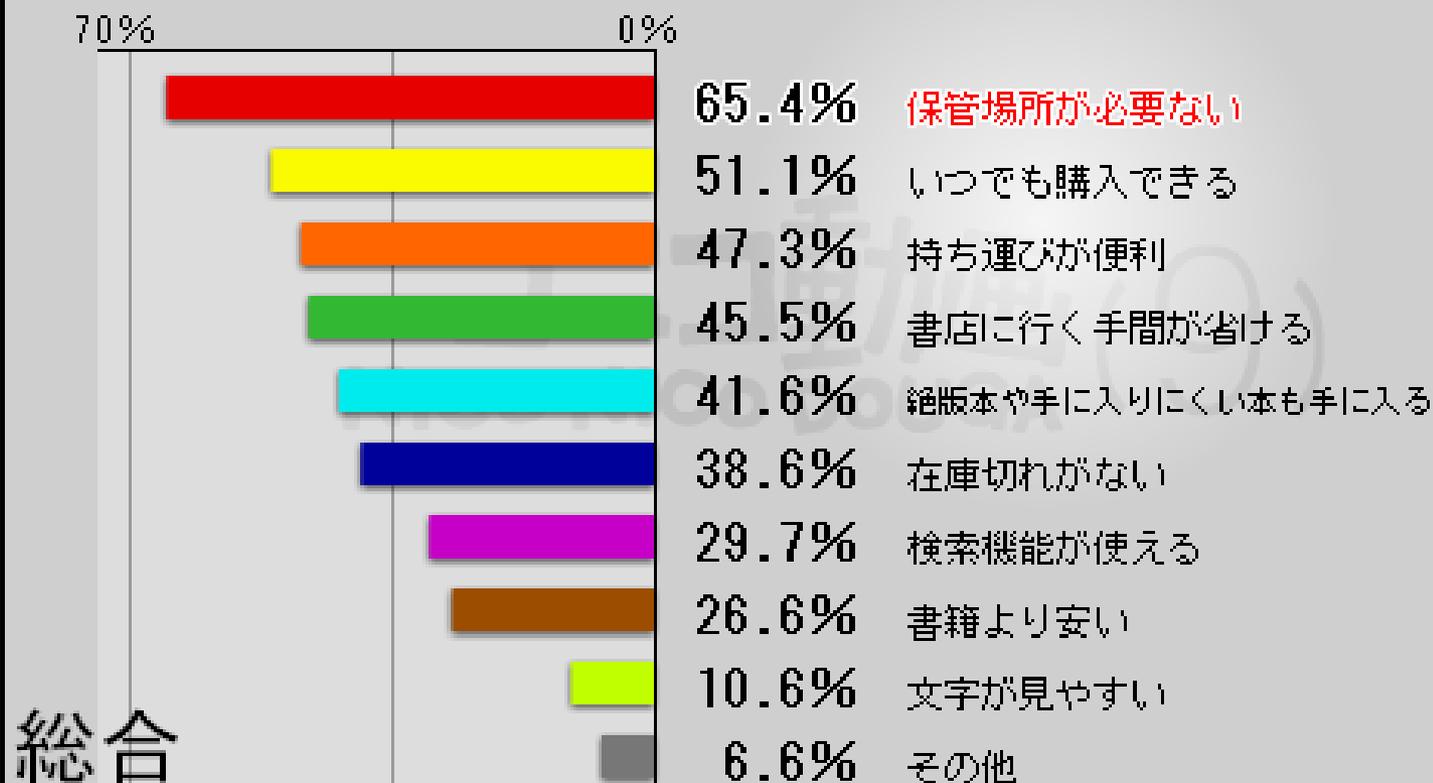
ニコ割アンケート結果

総回答数:63108人

2010年6月1日 19:30実施 200秒間



Q5.電子書籍サービスを利用している、また利用したいと答えた方にお聞きします。デジタル化された出版物の長所はどこだと思いますか。(複数回答可)





電子書籍貸出に必要な貸出ポリシー

1) 選択、収集・保管(手続き・契約)関連事項

- ① 貸出冊数
- ② 貸出期間
- ③ 予約

<ポイント>

購入冊数と同時貸出(貸出期間)の管理





電子書籍貸出に必要な貸出ポリシー

2)利用者の登録

<ポイント>

昼間の地域かかわりのある人を利用者対象者と
するか否か





電子書籍貸出に必要な貸出ポリシー

3) 著作権の保護

<ポイント>

コピープロテクト

DRM (Digital Right Management) の付与



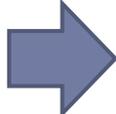
事例検討：堺市立図書館における電子書籍の貸出

堺市立図書館 電子書籍の貸出を中心とした電子図書館を構築することの意味

日本の公共図書館において電子書籍の貸出を行っている図書館は極めて少ない。

利用者の求める情報をその利用者に提供していくための情報のポータルサイトとしての公共図書館

市場に出た電子資料



公共図書館のホームページ



貸出・閲覧

新たな情報サービスの可能性が顕在化

堺市立図書館における電子書籍貸出サービス



今後の図書館における電子書籍利活用の方向性

貸出カードの交付時以外は、全く来館しなくても受けられるサービス

非来館型のインターネット
を場としたサービスの深化

堺市立図書館の電子
書籍のユーザー

- ①文芸書の利用者
- ②学習的資料の利用者
- ③ビジネススキルを目的とした利用者

現在提供可能なコンテンツの種
類とパソコン環境下で利用

学術資料も考えられるが、有料の電子ジャーナル等を除いて、各大学などは、機関リポジトリの形成によって、オープンアクセス化が進んできているため、公共図書館で高額な学術雑誌や、学術的な電子書籍コンテンツを購入する必要性は、コストパフォーマンスの観点からも低い。

堺市立図書館が独自に所蔵する資料(主に地域資料)を、電子化してインターネット上で検索可能とする

地域資料の電子化にあたっては、メタデータを付けることによってインターネット上で検索可能となる。さらに、著作権がまだ存在する資料については、電子化と公衆送信権について著作権者の許諾を得て提供していく必要がある。

障害者サービスの伸展という観点

電子化された資料は、パソコン上で、読み上げることが可能なことや、自宅で居ながら貸出サービスを利用できるため、視覚障がい者や、来館が困難な利用者にとっては、アクセシビリティが確保されることになる

- 堺市立図書館の電子書籍ビューア・Wbookには、読み上げ機能はあるが、資料検索から目的の資料に行きつくまでが、障がい者対応にはなっていない。障がい者へのユーザーインターフェイスの問題は今後の課題であるが、決して小さな問題ではない。
- 更に、世界標準規格であるデイジーやマルチメディアデイジーに電子書籍貸出システムを対応させるシステム構築も課題となる。

平成21年度の著作権法改正により、公共図書館での障がい者への資料提供について、著作権者への権利制限条項が拡大した。その趣旨を公共図書館が反映させるため、可能なサービスを早急に、実施できるシステムとすることが課題である。

ログイン

ログインフォーム (ID, PW, ログインボタン)

ジャンル

- ジャンル一覧: 洋書, 漫画, 辞書, 社会科学, 目録, 言語, 芸術, 音楽, 児童



検索欄: コンテンツ名, 検索ボタン

おすすめの図書



サトウ 隆夫 ビジネスマンと仕事術
ビジネスマン研究会
法橋

お知らせ | FAQ | 出版社一覧 | 出版社別

洋書
.

おすすめの本



編者名
発行年
ISBN



編者名
発行年
ISBN



編者名
発行年
ISBN



編者名
発行年
ISBN

おすすめの本



仕事術
サトウ 隆夫



仕事術
サトウ 隆夫



仕事術
サトウ 隆夫

おすすめの本

- 蔵書案内
- ご利用案内
- お問い合わせ
- ビューワの利用方法

ログイン

IC
 PW

コンテンツ検索

ホーム > 各種案内 > 図書検索

>> 図書レビュー | Book Review

ジャンル

▶ 総記

▶ 医学

▶ 歴史

▶ 科学

▶ 自然科学

▶ 技術工学

▶ 産業

▶ 芸術美術

▶ 言語

▶ 文学



茶の本

著者 岡倉 玄心(ウヰン)平瀬由子

出版社 ソノチカ

発行日 1978-11-1

図書タイプ XML

予約人数:2人

> コンテンツ紹介 | Information

便利ツール

ご利用方法

コンテンツリスト

ビューワの利用方法

TOP

図書紹介

著者紹介

目次

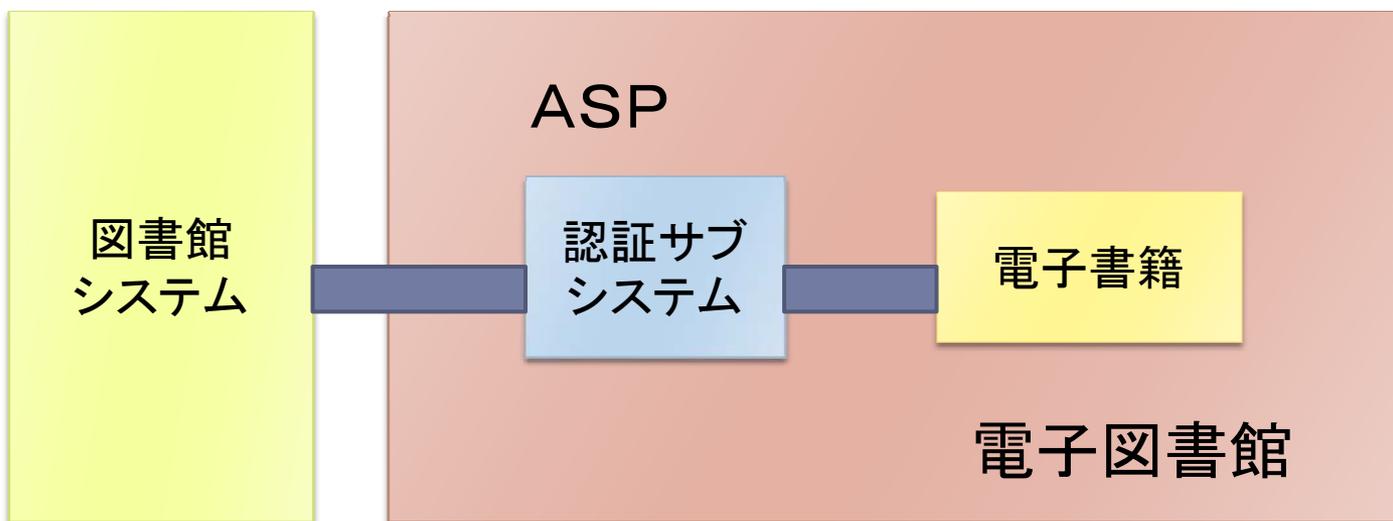
出版社コメント

システムの概要

- ① 堺市立図書館のホームページのwebOPACの蔵書検索から、目的の電子書籍がヒットすれば、電子図書館のページにリンクされており、そちらのページ(DNPサーバのページ)のコンテンツにとぶ。
- ② ID(貸出カード番号)、パスワード(ホームページ上から申請できる)でログインする。(マイライブラリページがある。)
- ③ ファイル形式はPDFまたはXMLであり、Wbookのビューア19)をダウンロードすることにより、PC上で貸し出された電子書籍を読むことができる。
- ④ 目的の電子書籍コンテンツの右横の「貸出」(貸出中であれば「予約」ボタン)をクリックすると、貸出手続きが完了する。
- ⑤ 電子書籍の貸出制限冊数は**3冊**、予約は3冊。
- ⑥ マーカー等による書き込みができるが、書き込みはマイページ上における記憶のみで、返却されたコンテンツに書き込みがされているものではない。
- ⑦ コンテンツはDRMによる保護がされており、パソコンにコピーできない。
- ⑧ 2週間の貸出期間が設定されており、他の予約がないものは1回2週間の延長が可能。2週間後は自動返却される(もちろんその期間はいつでも返却可能)。

- ⑨ クラウド型, ASP方式での配信のため, 図書館サーバにおける負担軽減であり, 窓口での職員の労力もいらない。資料費以外は, コストパフォーマンスが高く、導入が容易である。

図5. ASP方式の電子図書館概念図



- ⑩ 堺市立図書館での貸出カードが必要であり, 貸出利用の要件にない場合は利用できない。

電子書籍貸出サービスの概要及びスタート時点での利用者の反応

堺市立図書館電子書籍貸出サービスの開始(2011年1月8日)から10日間の統計では、貸出利用者約400人、貸出件数1,150件、予約件数約300件である。

利用要件にない他地域の市民から「利用したい」という問い合わせもある。

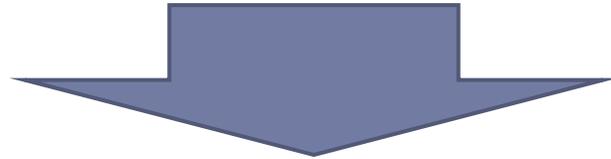
報道提供をしており、新聞、放送の取材もあり、西日本初の公共図書館における電子書籍貸出サービス開始は、時を得た話題であり、非常に注目された。

表1. 堺市立図書館 電子書籍分野別集計表(平成22年度)

分野		冊数	金額
ビジネス支援	スキルアップ	25	355,214
	資格試験問題集	42	841,155
	コンピュータ関係	101	1,137,024
	小計	168	2,333,393
語学学習		59	321,673
その他		15	46,634
青空文庫		502	250,000
ゲーテンベルグ21		403	374,524
合計		1,147	3,326,223

ライセンス数	冊数	計
1ライセンス資料	461	461
3ライセンス資料	686	2,058
計	1,147	2,519

青空文庫やゲーテンベルグ21のコンテンツのアクセス料が紙媒体の単行本平均単価と比べると非常に安く、そうしたパブリックドメインは、コンテンツ作成にかかわる費用に依拠しているため安いのであるが、パブリックドメイン以外は、概ね割高(3アクセスを含んでいるため、単純な平均単価を求めるのはこの表からはできないが)である



著作権者に対する著作権処理における許諾の料金の高さが、今後コンテンツ拡大のハードルになることも予測できるのである。また、この事実は図書館用コンテンツが、著作権許諾済みの約4,000点の壁を乗り越えられない原因の一つである

(4)今後の課題と問題点

- ①コンテンツの多様性, タイトル数の少なさ問題。少ないタイトルの中で, 現実的には利用者の課題解決のために有効なコンテンツを提供していくことが, 必要となってくる。
- ②国立国会図書館の電子化された資料が, 今後ILLによって, 各公共図書館で利用される道が開かれるのか。公式な利用プランでは, 電子書籍であるにも関わらず貸出をした図書館の館内閲覧に限定することが表明がある。
- ③DNPサーバ内のコンテンツにアクセス(公衆送信権の許諾を出版社が図書館に対してライセンスという形で許諾する)する, いわゆるクラウド型のコンテンツ利活用の問題がある。図書館独自のサーバ, 技術, システムによって運用されていないことに伴う問題が生ずる惧れがある。
- ④Windows環境のみの利用環境²²⁾ から, タブレット, 電子書籍専用デバイスへの対応の拡大。

- ⑤ 著者への印税率の問題に起因する著作権処理の許諾交渉の難しさによる、コンテンツの多様性及び増加の問題。
- ⑥ 契約上、契約解除に伴う、サービス停止による閲覧できなくなることへの懸念の除去、または解消
- ⑦ 図書館独自のコンテンツを自ら作成するスキルの拡充と方途の確保。

著作権処理を済ませ、公衆送信権を可能とした電子書籍の貸出サービスは、まだ始まったばかりであるため、種類も限られたのもので、コンテンツも少ない状況にある。そのため、図書館における電子書籍貸出のプラットフォームを提供する企業を通じ、参加出版社に図書館から働きかけ、需要があると考えられるコンテンツの増加を図ることが、図書館の情報資源の多様性と満足のいく電子書籍貸出サービスの構築という点からも必要であろう。



電子書籍貸出サービスの課題

1) 電子書籍貸出サービス実施館の拡大

点から線へ 線から面へ





電子書籍貸出サービスの課題

2) 電子書籍端末、携帯端末での利用





電子書籍貸出サービスの課題

3) 利用貸し出し可能な電子書籍コンテンツの拡大

- ・新刊の電子書籍を図書館で利用可能に





電子書籍貸出サービスの課題

3) 利用貸し出し可能な電子書籍コンテンツの拡大

- ・グーグルブック検索
- ・国立国会図書館 資料のデジタル化

・-----





まとめ

総ての人に、すべての公開
資料を提供する

S.R.ランガナタン図書館学の第2法則





まとめ

図書館無料の原則に帰結 する





まとめ

電子書籍に貸出の 機能を組み込む



ご清聴ありがとうございました